

プリンス自動車工業の歴史

PRINCE MOTORS,LTD.:A Japanese car maker with a proud legacy
日本の自動車史に大きな足跡を残したメーカー
増補 3 訂版

当摩 節夫 / 著 三樹書房 2023.9
215p 27cm
537.067 / ネ 39 2023. 9.29 受入
定価 4,500 円 + 税



目次

- 本書推薦の言葉 田中次郎
- プリンスの歴史
- カタログでたどる プリンスのクルマたち
- 年表
- 主要モデルの仕様一覧
- 車両価格の推移
- 輸出実績
- 会社の沿革
- 従業員の変遷
- あとがき

□□ 内容紹介

戦後間もない 1947 年に開発された電気自動車「たま」、現在も生産されている「スカイライン」、初の国産御料車「ロイヤルプリンス」等、プリンス自動車工業は、独特で性能の優れた新型車を次々と開発した自動車メーカーだった。技術者は立川飛行機と中島飛行機の流れを汲み、第 3 回日本 GP レースでは 1、2、4 位と自動車レースでもその存在感を示したが、1966 年に日産自動車と合併、会社としての名前は消えた。

本書は、2008 年出版の初版『プリンス』、2014 年第二訂版『プリンス自動車』に次ぐ、増補三訂版である。「マイラー」「クリッパー」「ホームー」などの商用車も追加され、主要モデルのスペックも掲載。

本書の多くが販売当時のカタログの掲載に割かれている。同じ車種を年代ごとに掲載、すべてカラーで、詳細な解説も付く。1940～60 年代のカタログはその時代を反映しており、当時の広告資料としても興味深い。

□□ 関連書籍

『プリンス自動車の光芒』
桂木 洋二 / 著 グランプリ出版 2003.10

『日産自動車社史 1964 - 1973』
日産自動車株式会社社史編集委員会 / 編集
日産自動車 1975

図書館員のつぶやき

1947 年！そんなに古くから電気自動車があったとは👏
“たま”という車名もカワイイ♡ 復刻希望♡♡

ホントに歩く中山道 第 12～14 集

風人社編集部 / 編 風人社 各巻とも 4 枚 19×106cm(折りたたみ 19cm)



第 12 集 八幡～軽井沢・碓氷峠

コラム 五郎兵衛新田とアフガンの用水路
岩村田宿・長野県最古のホテル
浅間根腰三宿、浅間山を見ながらの旅
軽井沢は江戸時代と宿を捨てた
2022.2～10
K682 / ネ 20 / (12)～(14)
2022.11.11 受入(第 12、13 集)
2023.9.15 受入(第 14 集)
定価 1,180 円 + 税(第 12、13 集)
1,280 円 + 税(第 14 集)

第 13 集 碓氷峠～安中(中宿) + 旧碓氷線 (横川～軽井沢)

コラム 碓氷関所と通行手形
日本近代史跡 碓氷峠を越えた鉄道
磯部温泉 大手万平と拓次
安政遠足・日本マラソン発祥の地

第 14 集 安中(中宿)～本庄

コラム 高崎だるま
群馬は東日本最大の古墳大国
神流川の戦と滝川一益
本庄、宿場町から繭取引の拠点へ

□□ 内容紹介

本シリーズは、蛇腹折にした 1 万分の 1 地形図 4 枚が 1 セットになっている。調査員が現地を実際に歩き、ポイントごとの写真、解説やコラムなどを掲載している。

第 1 集「京都(三条大橋)-守山」(2018 年刊)より、西から東へ向かうルートで刊行を開始。

「愛宕神社の鳥居の鳩」や「管公の看板」の写真など、歩く人ならではの視点が特徴的なシリーズ。

□□ 関連書籍

『中山道 群馬県歴史の道調査報告書 第 11 集』
群馬県教育委員会 1982.3

図書館員のつぶやき

いつも車で通る道だけど、ほんとに歩ける気がしてきます。でも、気がするだけです。

中山道 豆知識

- ◇ 中山道は、京都三条大橋と東京日本橋を結ぶ、約 530km。
- ◇ 江戸・京都間の所要日数はふつう、16 日前後。
- ◇ 碓氷関所ができたのは 1623 (元和 9) 年、今年で 400 年。
- ◇ 安中市の杉並木は 1681-1684 年の間に植えられたと推定されている(諸説あり)。



本紙は、県立図書館が新たに収蔵した資料をご紹介します。県立図書館は、小説や実用書などの一般的な資料よりも、専門的な資料や通常の出版物ルートに乗らない郷土資料など、特定の利用者層や限定的なニーズを満たすような資料を収集する役割を担っています。“ニッち” = “すき間” というタイトルにその意図を込めてみました。

【群馬県立図書館】 〒371-0017 前橋市日吉町一丁目 9-1 電話：027-231-3008

